

行政 Administration

新 年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成27年の新春をご家族おそろいで健やかに迎えのことと心からお喜びを申し上げますとともに、日ごろから町政執行に對しまして、深いご理解と格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、本町にとつては大規模な自然災害もなく、比較的平穏な一年であったと思えますが、全国に目を向けますと、台風や大雨に加え、御嶽山の突然の噴火により、多くの犠牲者を出すなど大きな災害が起こり、火山大国日本の怖さを改めて実感させられ、災害に対する危機意識を再認識しなければならぬ年でもありました。

明るい話題としては、ソチ・オリンピックにおいて道産子たちが活躍し、スキージャンプ男子個人ラージヒルでは葛西選手が最年長41歳での銀メダルに輝き、またスノーボード女子パラレル大回転では竹内選手も銀メダルを獲得するなど、スポーツに真剣に向き合う選手の感動的なシーンに道民全員、夢と希望をもらいました。

また、身近な話題としては、ホッカイドウ競馬が本年度においても売り上げを伸ばし、一昨年に引き続き2年連続で黒字ということと計画を大きく上回る結果となり、これもみなさんのご支援の賜物と感謝申し上げます。今後におきましても、地域の基盤産業である軽種馬の振興発展のため、ホッカイドウ競馬の安定的な運営が継続されますよう、さらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、国内経済を見ますと、アベノミクスと呼ばれる経済対策等により、国内需要が堅調に推移する中で、大都市圏を中心に、景気は緩やかな回復基調にあると言われていると見られます。しかしながら、実質賃金が物価の上昇においてついていない現状では、経済状況を慎重に見極める必要があります。地方における景気回復を実感することが出来るまでに、まだまだ時間が必要となります。

状況となっております。このような状況の中でも『ふるさと 新ひだか』のまちづくりは、引き続き『公平・思いやり・郷土愛』に加え、『思いやりとおもてなし』の二つの『おも』精神をベースに、『涼夏少雪』の優駿桜国、新ひだか町の魅力を全国へ発信するまちづくりのため、今後とも管内各町と連携しながら取り組んでまいります。

平成27年は、みなさんが待ち望んでいた図書館・博物館がよいよオープンとなります。

ふるさとが元気に飛躍するため、町民主役の協働の町づくりを目指し、この町で暮らしたい、この町で暮らしてよかったと思っただけのような『ふるさと新ひだか』の実現のため、また、将来を担う子どもたちに自信を持って引き継いでいくため、町民の皆様とともに『心をひとつに、前を向いて』この町を希望の持てる、より良い、より心豊かな暮らしのできる町にするため、年頭にあたり決意を新たにいつそうの努力

を傾注する所存でありま

最後となりますが、本年も昨年同様、町政に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



新ひだか町長 酒井 芳秀

議会 Assembly

新 年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい平成27年の新春を迎え、心から喜びを申し上げますとともに、町民の皆様には、日ごろから町議会活動に対し、深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年4月定数2名減となった中での町議会議員の改選により、無投票ではありましたが、20名の新しい体制が決まりました。

その中で第3代議長に選任されました、この大役は重責とともに身に余る光栄と存じております。

議員として3期11年間、この期間中に多くの町民の方から寄せられたご意見、要望等を重く受け止め、町民の皆様へ愛され、信頼され、さらに町民の目線に立った議会を目指して責務を果たしていきたいと考えております。

昨年は、戦後最悪の火山災害となった御嶽山の噴火（平成26年9月27日）は死者57人、行方不明者6人となり、捜索環境の悪化によ

り10月で捜索を中止し、今春以降の再開になりました。

また、局地的豪雨による土砂災害に襲われた広島市でも56人の犠牲者が出ました。お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

平和を願う世界中の祈りが行き届かない現状の中での、ノーベル賞等の輝かしい話題や好ましくない悲惨さに心痛める案件が交錯する昨今ですが、当町での明るい話題として、全日本選手権大会女子ソフトテニスダブルスでの優勝をはじめ、全道大会中学の部で、英語暗唱大会・ソフトテニス大会女子個人戦等で優秀な成績を収めるなど青少年のスポーツ・文化の活躍などで、迎えた新しい年に大きな希望を持たせてくれました。

わが町は、誕生して10年目を迎えました。取り巻く状況は極めて厳しいものがありますが、私たち町民は一体となって着実に乗り越

えていかなければなりません。

昨年は、各常任委員会が他市町村へ行政視察に出かけ、研鑽を積みました。①木質バイオマスエネルギーについて、苫小牧市、南富良野町、むかわ町を調査。②障がい者支援施設福祉村、総合体育館合宿誘致の運営実績、美瑛町地域包括ケアシステム導入施設について、岩見沢市、芦別市、美瑛町を調査。③合併後の状況について、石狩市、江別市にむかひ、行政視察・調査を実施いたしました。

今後のまちづくりの審議にしっかりと生かしていくべく、意を新たにしております。議会は町民みなさんの意見を反映させ、行政のチェック機能を果たし、新ひだか町発展のために全力を傾注し、町民に見える議会活動をさらに前進させるためにも研鑽を深め、責務と責任をしっかりと議員全員で果たし、町民の皆様の付託にこたえて参る所存であります。

結びに町民皆様のご指導



新ひだか町議会議長 細川 勝弥

とご協力を心からお願ひ申し上げます。町民の皆様お一人お一人にとりまして、輝かしい一年であることを祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

2015年
年頭のごあいさつ